

活動状況報告書

1 事業名称

科学教室事業

2 実施主体

■ 団体名： エデンの園科学教室

3 事業の実施内容

※ 実施内容について、事業毎に記載してください。

定例会、の実施

日 付	作 業 内 容
4月20日	本年度事業計画打ち合わせ、 第1回の教室はマジックウォールに決定、試作する
5月18日	第2回の打ち合わせ、 第2回の教室はテーマ紙コップターに決定、試作する
6月15日	第3回講座の打ち合わせ及び試作（変り絵）、
7月13日	第4回の万華鏡講座の打ち合わせ、試作会
7月27日	蒸気船の反省会（ポンポン音が出ないのにポンポン船は不適合であるとの内部から指摘される、実際は小さな音でポンポン音がしている）
8月5日	臨時集会打ち合わせ及び準備、ブルブルの部品加工
8月17日	6回、7回の反省会、打ち合わせ、試作会＝ヘリコプター
9月23日	定例会、反省会＝ヘリコプターは相変わらず好評だったと全員喜ぶ。
10月5日	定例会第9回の紙飛行機に決定試作する。
11月16日	定例会、反省は専ら調整が幼児には難しかったので今後は対象年齢を上げたい
12月7日	定例会＝酷暑でみな相当疲れているので今月は休会とした、来月以降の体力温存に努めたい。
1月5日	臨時会＝2月のマグデブルクの準備と学習をする
1月11日	定例会＝この会のオリジナル風なので皆で改良に努める
2月1日	定例会、22日のマグデブルクの打ち合わせと試作
2月22日	反省会＝低学年では空気の吸入が力不足であった点を反省した次回は年齢をもう少し上げると意見一致する
3月1日	定例会＝来年度4月のテーマを「わにパッケン」と決定他に年間予定も協議する。

講座の実施

日 付	作 業 内 容	参加者数 名	参加費 円	摘要
4 月 27 日 (土)	マジックウォールで偏光板の不思議を学ぶ、呼び名の通りマジックの要素があって興味が一層湧き出るので好評。 講師 山本、太田	12	250	20名のところ12名は不満だ
5 月 25 日 (土)	空気の流れを学び、紙コップを加工し飛び方を工夫する。 講師 太田、鈴木	16	200	定員割れ、取り消しもある
6 月 29 日 (土)	簡単な折り紙だが三角形の不思議な性質について学ぶ 講師 野口、岩瀬	13	無料	無料にしたが未だ
7 月 20 日 (土)	万華鏡で光の屈折を学びながら楽しむ特に女性に人気がある講座 講師 小林、太田	13	500	
7 月 24 日 (水)	蒸気船を作り動く原理を学ぶ、実際浮かべてみると年齢に関係なく楽しんでいる人気講座である 講師 花田、山本	18	500	
8 月 02 日 (金)	マブチモーターの協力を得て、回転を振動に変換しても動く事を知って貰う、特にモーターの用途が極めて広範囲だということを学習 講師 功力、山本	8	200	アンケートでは何時も好評でも参加は別問題
8 月 06 日 (火)	夏休みの宿題に提出すると言う人気の講座であった。 講師 今安、山本	22	200	猛暑で全員汗だくだった
9 月 14 日 (土)	ヘリコプターを作り推進力を学ぶ、講座の時間が過ぎても飛ばすことに夢中で中には講師が教えもしないことを実験している児童がいて予想していなかったのが驚いた。 講師 小林、今安	12	300	沖縄に配備されたので関心が高かったように思える

10月12日 (土)	紙飛行機、構造は簡単であるが調整の如何によって飛距離が違うことから実機には見えない技術があることを学んだ。 講師 太田、長谷部	9	100	
2月22日 (土)	マグデブルクの半球の製作と、大気圧について 講師 小林、山本、小林、太田	11	500	低学年には体力、知力に難が観られた

その他

	園内行事の文化祭に参加し、展示と原理説明会を春秋2回行う
	高塚団地祭に参加数点を製作し楽しんでもらう

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

- ※ 計画時に設定した事業目的が、どの程度達成されたのかを記載してください。
- ※ 今年度に入って担当するボランティアも経験や研鑽を重ねた結果低学年が対象の為、開講当初は戸惑いが有ったが次第に余裕を持って指導する余裕も出てきたのは特記すべき事である。
- ※ 本来の科学教室の目的が果たせたのかなと一部には疑問を持ったが成果を見た感じでは、児童も本当に学ぶ意識が強い子供がリピーターとして参加しているのは初期の目的以上に達成できたと感じている。
- ※ 今年度は講義終了後アンケートを兼ねて一人一人が感想を述べて貰うことにした、初めの内はもじもじしていたが励ましてやるとマイクに向かって意見を述べた子供がやがて物おじせずマイクを手にとって述べるまでに成長したのには驚いた。
- ※ 発言の場合は言葉なので考えたことが率直な意見としてだされた、従来は単純な質問にしてきたのでイエス、ノーで何処が良くて何処が不満だったのか良く判らない。今年度はその点求めているのがはっきりとしたので今後にかかしていきたい。

(2) 事業課題の解決について

- ※ 計画時に設定した事業課題が、どの程度解決できたのかを記載してください。
- ※ 尤も苦慮したのは開催日の設定で近年の少子化で隣接の高塚団地でも平日は勿論土日でも遊んでいる子供を余り見掛けない。
聞けばクラブ活動で学校に行っている子もいる為と言われている
 - この点は学校側とよく協議して行けば充分解決できると思う
- ※ホームページ等が整備されていないので早く立ち上げたい

5 今後の事業展開

- ※ この事業について、今後どのように展開したいのかを記載してください。
- ※ 来年度以降の助成制度の活用は他の制度をお願いしないと継続できないので会員に諮りながら目下一件申請中である。
- ※ 会員の高齢化を解決しないと今後の存続も危ぶまれる、この点は園内でも新しい入居者に呼び掛けているが中々難しいが今年度は新たに2名の新規加入があったので更に理解を得る努力をしていきたい。
- ※ 外部の方も仲間にしたらとの声も聞いたが設立の趣旨がエデンの入居者の生甲斐の一端として始めたので規約の変更やその他の手続きもあり中々難しいと言うのが実情ながら何れ此のままではいけない時期には決断を迫られるかもしれない。その時は組織の改編も考えて行きたい、しかし現在ようやく会員も増え定着の兆しが見えているので此のまま推進して行くことで全員協力する意思で固まっている。

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考
団体	寄付金	¥ 40,000	¥ 60,000	¥ 20,000	
	講座参加料	¥ 60,000	¥ 30,600	¥▲29,400	
				¥ 0	
	自己資金合計額 (a)	¥100,000	¥ 90,600	¥ ▲9,400	
市	松戸市助成金 (b)	¥100,000	¥ 100,000	¥ 0	← 精算額
合計額 (c) = (a + b)		¥200,000	¥ 190,600	¥ 9,400	

【事業費の支出額(支出)】

	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 50,000	¥ 18,000	¥ 32,000	講師謝礼
	印刷製本費	¥ 10,000	¥ 2,012	¥ 7,988	コピー代
	消耗品費	¥ 60,000	¥ 112,300	¥▲52,300	材料、教材費
	賃借料	¥ 20,000	¥ 2,200	¥ 17,800	実験用器材
	保険料	¥ 20,000	¥ 0	¥ 20,000	
	通信費	¥ 10,000	¥ 660	¥ 9,340	郵便代
		対象経費の合計 (d)	¥170,000	¥ 135,172	¥ 34,828
(その他経費)	工具費	¥ 20,000	¥ 14,420	¥ 5,580	
	保管費	¥ 10,000	¥ 0		
	事務備品等	¥ 0	¥ 41,008		
	その他経費の合計額 (e)	¥ 30,000	¥ 55,428	¥▲25,428	
合計額 (f) = (d + e)		¥200,000	¥ 190,600	¥ 9,400	

【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費 (d) 欄の90%以内であること。
- 2 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額	¥	
-----	---	--

団体名
代表者氏名

エデンの園科学教室
代表 山本 喬

収支内訳書

【事業費の収入額】

科 目		金 額	内 訳	摘 要
団 体	寄付金	¥ 60,000	60000円×1名	山本 喬より当団体に寄附
	講座参加料	¥ 30,600	300円×22人 500円×48人	
	自己資金合計額	¥ 90,600		
市	松戸市助成金	¥ 100,000		
合 計 額		¥ 190,600		

【事業費の支出額】

科 目		金 額	支出内訳	説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	1 報償費	¥ 18,000	3,000円×6回	講師謝礼 講師名 功力氏、今安氏、小林氏
	2 印刷製本費	¥ 2,012		教材用資料印刷代として
	3 消耗品費	¥ 112,300	実験用材料代 83,329円 インク代 41,606円	紙コップ、ビニールテープ、A4フ ラットファイル他 インク
	4 賃借料	¥ 2,200	2200円×1回	マグデ用実験器材賃借料として
	5 保険料	¥ 0		
	6 郵送料	¥ 660	切手代 20円 郵送料 640円	資料、実験器具送付
	対象経費の合計	¥ 135,172		
その他経費	工具費	¥ 14,420		ドリル、ドライバ等
	保管費	¥ 0		
	事務備品費	¥ 41,008		マイクロSDカード、カードリー ダー等
	その他経費の	¥ 55,428		
合 計 額		¥ 190,600		

活動状況報告書

1 事業名称 ※ 事業名称を記載してください。

自主防災告知事業

2 実施主体

■ 団体名：栗中地域防災委員会 ※ 団体名を記載してください。

3 事業の実施内容

※ 実施内容について、事業毎に記載してください。

I 自主的備蓄に関するアンケート調査の実施

日付	作業内容
4月20日	アンケート内容打ち合わせ
5月12日	アンケート内容打ち合わせ
5月25日	町会および栗中に対するアンケートの依頼
6月13日	アンケート用紙印刷
6月14日～20日	アンケート配布準備
6月21日～30日	アンケート配布（11町会各戸配布5190部および栗中生徒469部）
7月1日～30日	アンケート回収（町会1400部および栗中生徒420部）および集計、結果配布

II 自主防災の重要性に関する講演会の実施 1

日付	作業内容
6月8日	講演会企画打ち合わせ
6月13日	チラシ印刷
6月14日～21日	チラシ配布（11町会各戸配布5190部）
6月24日	講演会打ち合わせ
7月7日	講演会の開催（「災害救援の経験を聞く」、栗中食堂、講師：佐藤善邦氏（松戸市消防局総務課）、是澤政和氏（松戸市危機管理課専門監）、二見弘幸氏（松戸市危機管理課専門監）、参加者およそ100名）

III 自主防災の重要性に関する講演会の実施 2

日付	作業内容
11月10日	講演会企画打ち合わせ
11月12日	講演会企画打ち合わせ
11月15日	チラシ印刷

11月16日～21日	チラシ配布（11町会回覧467部）
11月27日	講演会打ち合わせ
12月15日	講演会の開催（「災害を支える医療の役割」、小金原6-7会館、講師：桑原利章医師（松戸市医師会防災担当理事/小金原診療所院長）、旭俊臣医師（旭神経内科リハビリテーション病院院長）、参加者およそ50名

IV 地域住民との収容避難所開設訓練の実施

日付	作業内容
10月10日	訓練企画打ち合わせ
11月10日	訓練企画打ち合わせ
11月12日	訓練企画打ち合わせ
12月7日	訓練打ち合わせ
12月12日	チラシ印刷
12月13日～20日	チラシ配布（11町会回覧456部）
1月10日	訓練打ち合わせ
1月11日～17日	訓練準備
1月17日	訓練打ち合わせ
1月18日	訓練実施（栗中収容避難所開設訓練、栗中体育館、参加者およそ250名）

V 栗中地域防災委員会からの情報発信

日付	作業内容
12月3日	内容打ち合わせ
12月7日	委員会にて内容吟味
1月24日	印刷
1月28日	配布（11町会5190部）

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

松戸市防災計画の周知を地域住民の80%以上に知っていただく事を目標としたが、達成度測定のための二度目のアンケートを行う資金がなく、達成度不明。しかし、五つの事業により、事業以前に対し、その認知は大きく改善されたと考える。アンケートは来年度改めて行う予定。

(2) 事業課題の解決について

松戸市防災計画を周知し、自主的備蓄等の自主防災を推進するという課題に対して、一定の効果があったと考える。

5 今後の事業展開

今後もこの告知事業を継続し、より多くの方に松戸市防災計画を知っていただき、自主防災のための行動をとって頂けるようにする。

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考
団体	町会拠出金	¥ 50,000	¥ 25,973	¥ ▲24,027	
	自己資金合計額 (a)	¥ 50,000	¥ 25,973	¥ ▲24,027	
市	松戸市助成金 (b)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
合計額 (c) = (a + b)		¥ 150,000	¥ 125,973	¥ 24,027	

【事業費の支出額(支出)】

	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考
助成金の交付対象経費	1 報償費	¥ 50,000	¥ 0	¥ 50,000	講演会謝礼
	2 印刷製本費	¥ 60,000	¥ 100,686	¥ ▲40,686	告知・アンケート用 チラシ印刷
	3 消耗品	¥ 5,000	¥ 18,643	¥ ▲13,643	收容避難所開設訓練 用
	4 会場使用料	¥ 0	¥ 1,000	¥ ▲1,000	第2回講演会
	対象経費の合計 (d)	¥ 115,000	¥ 120,329	¥ ▲5,329	
(その他経費 対象外)	委員会開催費	¥ 35,000	¥ 354	¥ 34,646	食糧費
	会場使用料	¥ 0	¥ 5,290	▲5,290	打合せ
	その他経費の合計額 (e)	¥ 35,000	¥ 5,644	¥ 29,356	
合計額 (f) = (d + e)		¥ 150,000	¥ 125,973	¥ 24,027	

【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費 (d) 欄の90%以内であること。
- 2 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額

¥

団体名
代表者氏名

栗ヶ沢中学校地域防災委員会
委員長 小林 俊夫



収支内訳書

【事業費の収入額】

科目		金額	内訳	摘要
団体	町会拠出金	¥ 25,973		町会拠出金
市	松戸市助成金	¥ 100,000		
合計額		¥ 125,973		

【事業費の支出額】

科目		金額	支出内訳	説明事項（用途など）
助成金の 交付対象経費	1 報償費	¥ 0		講師が市職員等のため、謝礼なし
	2 印刷製本費	¥ 100,686		印刷代、コピー代 委員会資料、講演会チラシ等
	3 消耗品	¥ 18,643		収容避難所開設訓練用 布テープ、軍手、鉛筆、セロテープ 等
	4 会場使用料	¥ 1,000		第2回講演会
	対象経費の合計	¥ 120,329		
その他経費	委員会開催費	¥ 354		食料費
	会場使用料	¥ 5,290		打合せ
	その他経費の合計	¥ 5,644		
合計額		¥ 125,973		

活動報告書

1、事業名 自閉症・発達障害児・者のための療育パンフレット作成事業

2、NPO法人 まつど自閉症センター

3、事業実施内容

I パンフレット作成事業

- 5月16日 松戸療育・自立支援研究会にて会員に向けて「療育パンフレット編集委員募集」の呼びかけをすることを承認
- 5月24日 第1回 編集会議実施→取材先選定、日程確認
- 6月 取材先への質問項目等整理、情報収集と整理
- 7月～8月 各委員が主に電話取材
- 8月29日 松戸療育・自立支援研究会において進捗状況の報告と問題点などを話し合う。
- 9月 電話によりOKをもらった事業所へ出向き、インタビュー
- 10月～12月 デザイン・レイアウト等の打ち合わせ、医療機関マップの作成
印刷業者選定
- 1月～2月 フェアポスター・ガイド校正開始
- 2月 印刷発注、納品、配布開始

II まつど発達支援フェア開催

- 11月21日 松戸療育・自立支援研究会にて会員に向けて「フェア実行委員募集」の呼びかけをすることを承認
- 12月 各方面への協力要請（保育士、教員、発達センター職員など）
- 1月23日 松戸療育・自立支援研究会においてフェアの内容起案と承認。
実行委員会を昼間の部、夜の部に分け、活動（担当）内容を整理。各実行委員会の日程調整
- 2月 フェアポスター、チラシ印刷、配布
各実行委員会実施 夜の部：4日、27日
昼の部：5日、3月7日
- 3月8日 フェア前日準備
- 3月9日 「まつど発達支援フェア」開催

4、事業の成果について

(1) 事業目的の達成について

ガイド（療育パンフレット）は「見易さ・解りやすさ・手に取りやすさ」を追求しデザイン・作成した結果当初の計画の10倍近い部数が印刷できた。そのため配布数も予定より大幅に多くなった。（印刷部数9,500部内現在の在庫約500部）

フェアについては、ポスターチラシの印刷日程の関係上広報期間1ヶ月以下と厳しい状況下であったが、各実行委員の協力により「広報まつど」や「地域新聞」にも掲載されたためか、大人・子どもを合わせ推定350名程度の来場者があった。

(2) 事業課題の解決について

今回のガイドの編集にあたっては事業課題に挙げた「地域に密着した使える情報」にこだわり、タイトルに「まつど」を入れ、松戸市内の資源をひたすら紹介したことにより、「困ったときには先ずここ」と言った初動（入り口）を紹介できたと思う。

インターネットを開けば情報が沢山ありすぎ、逆にどれを選んだら良いか？というユーザーが多い中、本ガイドは情報を厳選しているので、ひとまず手に取ってみようと言う気持ちになり、動いてみようという希望が見えてくるだろう。

5、今後の事業展開

松戸市内の情報を紹介したが、更なる資源の掘り起こしと、市内に留まらず松戸から無理なく使える範囲での情報提供・資源の掘り起こしを進め「だれもが安心して、笑顔で暮らせる街」にしていきたい。

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	備考
団体	団体拠出金	¥ 60,000	¥ 60,000	¥ 0	パンフレット買取
		¥ 0	¥ 3,878	¥ ▲3,878	
	講座参加料	¥ 0	¥ 0	¥ 0	
				¥ 0	
	自己資金合計額 (a)	¥ 60,000	¥ 0	¥ 0	
市	松戸市助成金 (b)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
合計額 (c) = (a + b)		¥ 160,000	¥ 163,878	¥ ▲3,878	

【事業費の支出額(支出)】

	科目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の交付対象経費	印刷・製本費	¥ 110,000	¥ 132,280	¥ ▲22,280	ガイド・ポスター
	郵送・運搬費	¥ 20,000	¥ 3,030	¥ 16,970	ガイド・パンフレット
	謝金	¥ 25,000	¥ 25,000	¥ 0	フェア講師・ガイドデザイン
		対象経費の合計 (d)	¥ 155,000	¥ 160,310	¥ ▲5,310
外(対象)その他経費	会議費	¥ 5,000	¥ 3,568	¥ 1,432	フェア弁当・お茶
		¥ 0	¥ 0	¥ 0	
	その他経費の合計額 (e)	¥ 5,000	¥ 3,568	¥ 1,432	
合計額 (f) = (d + e)		¥ 160,000	¥ 163,878	¥ ▲3,878	

【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費 (d) 欄の90%以内であること。
- 2 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額	¥	-
------------	---	---

団体名 NPO法人まつど自閉症センター
 代表者氏名 理事長 畑 利子



収支内訳書

【事業費の収入額】

科 目		金 額	内 訳	摘 要
団 体	団体拠出金	¥ 60,000	300円×200部	事業費の一部を拠出
		¥ 3,878		
		¥ 0		
	自己資金合計額	¥ 63,878		
市	松戸市助成金	¥ 100,000		
合 計 額		¥ 163,878		

【事業費の支出額】

科 目		金 額	支出内訳	説明事項 (用途など)
助成金の 交付対象経費	1 印刷・製本費	¥ 132,280	9500部122,800円 200部9,480円	ガイド印刷、加工費 ポスター印刷
	2 郵送・運搬費	¥ 3,030	80円×16通 350円×5通	ヤマトメール便 レターパック (学校等へ)
	3 謝金	¥ 25,000	10,000円×1名 15,000円×1名	ガイド・フェアポスターデザイン フェア講師謝金
	対象経費の合計	¥ 160,310		
その他経費	会議費	¥ 3,568	弁当500円×2 お茶など	フェア講師用弁当 スタッフ用お茶、飲み物など
	その他経費の合計	¥ 3,568		
合 計 額		¥ 163,878		

活動状況報告書

1. 事業名称 介護する人をリフレッシュさせてあげたい事業

2. 実施主体

■ 団体名: NPO 法人 Emi の樹ダイエツトフロンティア

3. 事業の実施内容

※ 実施内容について、事業毎に記載してください。

I. 前期「介護するあなたをリフレッシュさせてあげたい講座」の実施

第1回目 5/26 (日) 介護者ご自身のリフレッシュ、セルフケアの方法

第2回目 6/16 (日) 介護に役立つ運動指導法、歩く基本とからだのしくみ

第3回目 7/7 (日) 栄養と食の理論と実践指導 (日常生活にすぐ役立つ食とは)

日付	作業内容
4月1日	事業企画打ち合わせ
4月1日～3日	チラシの企画及び作成
4月15日	市の広報掲載 (4月15日号)
4月15日	市の広報掲載依頼 (5月15日号)
4月17日～20日	チラシにてPR活動
4月26日	介護保険課より、介護関係施設へ事業周知 FAX
5月11日	20名の参加者が確定
5月20日～24日	講座打ち合わせ及び準備
5月26日	講座の開催① 小金市民センター 講師 Emi 参加者 20人
6月16日	講座の開催② "
7月7日	講座の開催③ "

II. 後期「介護するあなたをリフレッシュさせてあげたい講座」の実施

第1回目 9/29 (日) 介護者ご自身のリフレッシュ、セルフケアの方法

第2回目 10/20 (日) 介護に役立つ運動指導法、歩く基本とからだのしくみ

第3回目 11/10 (日) 栄養と食の理論と実践指導 (日常生活にすぐ役立つ食とは)

日付	作業内容
6月30日～7月5日	講座企画打ち合わせ
7月5日～9日	チラシの企画及び作成
7月9日	チラシの印刷
7月10日～9月20日	事業のPR活動
7月11日	市の広報掲載依頼 (8月1日号)
9月20日～27日	講座打ち合わせ及び準備
9月29日	講座の開催① 新松戸市民センター 講師 Emi 参加者 18人
10月20日	講座の開催② "
11月10日	講座の開催③ "

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

1. 定員20名を上回る参加希望となるように目標設定した。前期は30名近くの申し込みでキャンセル待ちまで発生した。後期は定員までは達しなかった。
2. 介護者・被介護者すべての方が心と体をリフレッシュし、お互いに幸せな方向に動いていることを目標設定した。参加者からは総じて良い感想を得ることができた。被介護者からのアンケートは依頼できなかったが、現場で活用した方からは良い反応だったことと、ご自身が指導することに慣れていないため、うまくできなかったかもしれないなどの感想を後ほどいただくことができた。

(2) 事業課題の解決について

セルフコンディショニングの実践を通じて、介護者の心身のリフレッシュに役立ったと感じる。また、正しい体の使い方が、軽快な動きにつながることを体感していただけたと感じる。また、被介護者に対しての、効率的な運動方法の伝達ではできたと思うが、現場での活用にはさらに熟練した技術も必要と思われるため、短期間では難しい面がある。食については参加者本人の意識改革につながった部分も多かったと感じる。継続していけば健康的な体作りにつながっていくと確信する。

5 今後の事業展開

今回は介護する方に絞った企画であったが、思った以上に反響が大きく需要は大きいと感じた。通常の事業では、すべての方を対象に広報しているが、今後は介護施設などを対象に出張講座の提案もしていきたい。施設側のスタッフを育てていくことが、施設の充実につながっていくのではないかと感じる。市の広報誌などでイベントや会員募集の広報をしているが、さらに効率の良い方法で介護者、被介護者、中高齢者、一般スポーツ愛好家など多くの方に事業を知ってもらい、健康的な生活に役立ててもらいたい。引き続き活気あるコミュニティづくりに寄与していきたい。

収支決算書

【事業費収入額(収入)】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	備考
団体	講座参加料	¥ 72,000	¥ 68,400	¥▲3,600	前期20名・後期18名参加
	寄付金	¥ 0	¥ 0	¥ 0	
	自己資金合計額 (a)	¥ 72,000	¥ 68,400	¥▲3,600	
市	松戸市助成金 (b)	¥100,000	¥100,000	¥ 0	←精算額
合計額 (c) = (a + b)		¥172,000	¥168,400	¥ 3,600	

【事業費の支出額(支出)】

	科目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の 交付対象経費	報償費(講師謝礼金)	¥ 48,000	¥ 48,000	¥ 0	講師謝礼6回分
	チラシ印刷費	¥ 20,000	¥ 24,000	¥▲4,000	チラシポスター印刷
	材料費	¥ 20,000	¥ 24,127	¥▲4,127	栄養指導材料費
	配布テキスト製作費	¥ 12,000	¥ 11,730	¥ 270	前期・後期 各3回
	消耗品費	¥ 7,000	¥ 6,169	¥ 831	文房具・その他
	保険料	¥ 10,800	¥ 3,600	¥ 7,200	イベント団体保険
	対象経費の合計 (d)	¥117,800	¥117,626	¥ 174	
(その他 対象外)経費	交通費	¥ 10,200	¥ 6,814	¥ 3,386	スタッフ交通費
	研修費、会議費	¥ 44,000	¥ 42,400		会議費・研修費(体操・調理)
	通信費 ほか	¥ 0	¥ 1,560	¥▲1,560	郵送料など
	その他経費の合計額 (e)	¥ 54,200	¥ 50,774	¥ 3,426	
合計額 (f) = (d + e)		¥172,000	¥168,400	¥ 3,600	

【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費 (d) 欄の90%以内であること。
- 2 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額 ¥ -

団体名 NPO法人Emiの樹ダイエツトフロンティア
代表者氏名 理事長 内田 恵美



収支内訳書

【事業費の収入額】

科目		金額	内訳	摘要
団体	講座参加料	¥ 68,400	500円×2×20人 500円×2×18人 800円×20人 800円×18人	講座参加者 前期20名・後期18名
	自己資金合計額	¥ 68,400		
市	松戸市助成金	¥ 100,000		
合計額		¥ 168,400		

【事業費の支出額】

科目		金額	支出内訳	説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	報償費（謝金）	¥ 48,000	8,000円×6回	講師謝礼 講師名 Emi 8,000円×6回
	チラシ印刷費	¥ 24,000	19,600円=1,000部 *A4チラシ 55円*A3ポスター80部	広報チラシの印刷代 介護するあなたをリフレッシュさせてあげたい講座用 チラシ1000部・ポスター80部
	材料費	¥ 24,127	栄養指導材料費	きゅうり・レタス・トマト・甜菜糖・練りごま・塩・味噌・人参・番茶・酢・レモン汁・醤油など
	配布テキスト製作費	¥ 11,730	A4白黒5円*414枚 A4カラー30円*322枚	配布テキスト 全3回*2回 (1回目5枚・2回目6枚・3回目5枚)
	消耗品費	¥ 6,169		両面テープ・ノート・ラミネートフィルム・名札ケース・修正液・ファイル・ゴミ袋など
	保険料	¥ 3,600	1800円*2回	行事（レクリエーション）保険 東京海上日動火災保険株式会社 加入期間 5月26日～7月7日 加入期間 9月29日～11月10日
	対象経費の合計	¥ 117,626		
その他経費	交通費	¥ 6,814		スタッフ交通費 電車代・ガソリン代
	研修費、会議費	¥ 42,400		スタッフ会議費 体操研修費 調理研修費
	通信費	¥ 1,560		切手代・郵送料
	その他経費の合計	¥ 50,774		
合計額		¥ 168,400		